

シラバス記入用紙

授業科目名: 英語演習 C②

担当教員名: 岡村 光浩

履修上の注意: 2年次以上対象。総合英語の履修後に受講することが望ましい。授業は半期完結だが、前期①はテキストの奇数ユニット、後期②は偶数ユニットを使用する予定。

授業目的・方針、到達目標(200文字程度で)

時事英語を学ぶ。英字新聞から選り抜かれた世界のニュースを読む。テキストの難易度は本学の英語科目で最も高い。新聞英語の約束事(日本語の新聞の読み方にも通じる)についても学びつつ、まとまった英文の内容を的確に把握する練習を徹底的に行う。リーディング中心となるがリスニングもある。「英字新聞を読みたかったら日本語の新聞を読め」をモットーに、折々のニュースや、テキストに関連した資料も積極的に紹介していくので、英語力だけでなく時事問題への意識も鍛えてもらいたい。出席は毎回取る。できる限り毎回全員に何か答えさせるので、そのつもりで準備のこと。

授業内容(各回 30 文字程度で、15 回全てをご記入ください)

- 1: オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他)
- 2: Unit 2 Are thicker textbooks the answer?
- 3: Unit 4 Young shoppers, historic roots push 'manga' into Europe mainstream
- 4: Unit 6 Japan loses to Paraguay on penalties
- 5: Unit 8 Talks to Address Trade in Tuna and Ivory
- 6: Unit 10 Made in Japan, nibbled globally
- 7: Unit 12 For the euro, breaking up is hard to do
- 8: 前半のまとめ
- 9: Unit 14 Dubai may drag on Gulf region
- 10: Unit 16 Young women defining mobile market
- 11: Unit 18 All aboard the Balkans express
- 12: Unit 20 In Israel, Russia is everywhere
- 13: Unit 22 For the host of Winter Games, disillusion and dread
- 14: Unit 24 Takahashi makes history with figure skating bronze
- 15: まとめ

評価方法(試験、レポート提出、課題提出など)

出席状況(重視)・平常点(宿題・予習状況・受講姿勢)・小テスト/提出課題・定期試験により総合的に評価する。

準備学習

中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。

使用テキスト

高橋優身ほか『English through the News Media: 2011 Edition』朝日出版社、2011年

参考テキスト

鈴木希明編著『総合英語 be』いっぴいな書店、2009年。ほか担当講師より随時紹介、またはプリント等を配布する。

各自準備物(受講の際、準備させる物があれば具体的に)

辞書(書籍版中辞典を推奨):学研『アンカーコズミカ英和』,大修館『ジーニアス英和』,三省堂『ウィズダム英和・和英』等
その他(注意事項、受講生へのメッセージなど)

1. テキストを十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。
2. 欠席は原則 4 回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻 30 分以上は欠席扱いとする。
3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は担当講師より指示する。